

かながわランドデザイン評価報告書

数値目標の達成状況及び評価一覧

No.	プロジェクト名	2016年度				総合計画審議会による二次評価	数値目標項目
		数値目標					
		単位	目標値	実績値	達成率 (%)		
1	未病	箇所	7,000	7,147	102.1	<p>やや遅れています</p> <p>「未病センター」の設置数、「かながわ未病改善協力制度」の参加事業所数は数値目標を上回っていますが、健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている人の割合は横ばいであり、また、健康に関する県民ニーズ調査の結果も低下するなど、健康への意識が低い県民への周知等が十分とは認められないことなどから、「やや遅れている」と評価します。</p> <p>・健康に対する関心が高くない方々を中心に、未病改善によって得られる効果を分かりやすく示すなど、未病の考え方の県民への一層の周知を図る必要があります。</p> <p>・未病改善の取組みは積極的に進められていますが、先駆的な取組みであり、また、プロジェクトのねらいの実現には一定の期間を要するため、定期的に成果を分析し、より効果的な取組みを検討する必要があります。</p>	<p>①「未病センター」設置数、「かながわ未病改善協力制度」の参加事業所数（累計）</p> <p>②日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている人の割合</p> <p>③特定健康診査・特定保健指導の実施率</p>
		%	80.0	71.2	89.0		
		%	65.5 39.8	-	-		
2	医療	万人	1.0	1.5	150.0	<p>概ね順調に進んでいます</p> <p>マイME-BYOカルテの利用者数が増加していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>・マイME-BYOカルテなど新たなヘルスケアシステムの構築を進めるに当たっては、重点的なターゲットを設定し、効果的に取組みを進めていく必要があります。</p> <p>・最先端医療の普及促進が県民の医療環境の向上や健康増進に寄与することを、県民に分かりやすく示す必要があります。</p>	<p>①マイ未病カルテ（個人向け医療・健康カルテ）の利用者数（累計）</p> <p>②在宅療養支援診療所の数（累計）</p> <p>③75歳未満の10万人当たりのがんによる死亡数</p> <p>④再就業を働きかける未就業看護職員の対象者数（累計）</p>
		施設	922	869	94.2		
		人	71.5	75.4	94.8		
		人	7,600	1,754	23.0		

2017年度						
数値目標				備考 (把握予定時期)	県の一次評価	総合計画審議会による二次評価
単位	目標値	実績値	達成率 (%)			
箇所	9,000	11,876	131.9		<p>概ね順調に進んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数値目標の達成状況は3項目中1項目で未把握ですが、未病センターの設置促進など、市町村や企業との連携により環境整備を進めた結果、県民の生活改善意欲が促され、未病センター利用者が延べ61万人を超えるなど主体的な行動が広がるとともに、2017年2月に国の「健康・医療戦略」に未病の概念が位置付けられ、未病概念が普及しつつあるなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。 	<p>概ね順調に進んでいます</p> <p>未病センターの設置促進など市町村と企業との連携による環境整備が進むとともに、未病概念が普及しつつあることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定健康診査・特定保健指導の実施率向上に向けて、保険者別の分析を行うなど効果的に取組みを展開する必要があります。 ・ ころの未病の相談体制について引き続き丁寧に対応するとともに、若年者の自殺予防に向けた取組みをより一層進めていく必要があります。 ・ 未病改善の取組みを効果的に展開するため、市町村の保健師等との連携をより一層進めていく必要があります。
%	83.0	70.7	85.1			
%	70.0 45.0	-	-	(2019年秋)		
万人	5	5.2	104.0			
施設	949	-	-	(2018年6月)	<p>概ね順調に進んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数値目標の達成状況は4項目中2項目で未把握ですが、マイME-BYOカルテの利用者が目標を上回るなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。 	<p>概ね順調に進んでいます</p> <p>マイME-BYOカルテの利用者数が増加していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅支援療養診療所の数だけでなく運用面にも留意し、住民が安心できる在宅医療の提供体制を整える必要があります。 ・ 離職者の数や復職等の意向の把握により一層取り組むとともに、訪問看護ステーションなど病院以外への就業も含め、未就業看護職員の再就業支援を進めていく必要があります。 ・ 地域医療構想の考え方がしっかりと県民に浸透するよう、市町村や医療機関等と連携し、効果的に周知を図る必要があります。
人	69.0	-	-	(2018年12月)		
人	12,300	2,550	20.7			

No.	プロジェクト名	2016年度				総合計画審議会による二次評価	数値目標項目	
		数値目標						
		単位	目標値	実績値	達成率 (%)			
3	高齢者福祉	人/月	5,700	4,582	80.3	<p>概ね順調に進んでいます</p> <p>「コグニサイズ」などをテーマとした教室やイベントの参加者数が順調に増加していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>・ライフスタイルや健康状態など、現在の高齢者の状況を的確に把握し、効果的な取組みを検討していく必要があります。</p> <p>・高齢者の健康・生きがいがづくりにとどまらず、高齢者の社会参加の促進についてより一層の取組みが必要です。</p> <p>・県民が認知症に関する情報にアクセスしやすい環境の整備を促進していく必要があります。</p>	①小規模多機能型居宅介護サービスの利用者数	
		床	35,800	35,477	99.0			②特別養護老人ホーム整備床数（累計）
		人	38,000	65,137	171.4			③「コグニサイズ」など認知症予防をテーマとした教室やイベントなどへの参加者数（累計）
4	障がい者福祉	人/月	8,000	7,968	99.6	<p>概ね順調に進んでいます</p> <p>福祉サービスの充実や障がい者に対する理解促進や権利擁護のための研修を行うなど、障がい者の地域生活を支える取組みが進んでいることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>・地域社会において、障がい者に対する理解促進のための取組みを一層進めるとともに、障がいのある人もない人もともに参加し活動できる場を増やしていく必要があります。</p> <p>・福祉サービスの充実や人材確保の取組みについて、その成果を検証し、より効果的な取組みを検討していく必要があります。</p> <p>・福祉サービス従事者をサポートするためのしくみを充実していく必要があります。</p>	①地域のグループホームの利用者数	
		人/月	15,800	15,261	96.5			②ホームヘルプサービスなどの利用者数
		人/月	13,700	13,563	99.0			③一般就労などに向けて福祉サービス事業所などで就労訓練をする人の数

2017年度						
数値目標					県の一次評価	総合計画審議会による二次評価
単位	目標値	実績値	達成率 (%)	備考 (把握予定時期)		
人/月	6,800	-	-	(2018年9月)	概ね順調に進んでいます。	<p>概ね順調に進んでいます</p> <p>若年性認知症支援コーディネーターを新たに配置するなど認知症の人や家族に対する支援が進んでいることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 高齢者の介護予防や地域生活の継続を図るために、小規模多機能型居宅介護サービスの普及啓発や事業所支援の充実、地域包括支援センターの機能強化など、地域包括ケアシステムの構築をより一層進めていく必要があります。 認知症サポート医や認知症サポーターなどを養成するとともに、認知症をサポートする企業や団体と協力して認知症の人にやさしい地域づくりに向けた取組みを、市町村と連携して進めていく必要があります。 福祉介護人材の確保に向け、若者の福祉介護分野への進学・就労を促進するため、福祉介護の仕事に関する普及啓発をより一層進める必要があります。
床	37,300	36,549	97.9			
人	69,000	92,910	134.6	速報値		
人/月	8,500	-	-	(2018年7月)	概ね順調に進んでいます。	<p>概ね順調に進んでいます</p> <p>福祉サービスの利用者数や相談支援専門員従事者数が増加するなど、障がい者の地域生活支援の取組みが進んでいることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 障がい者の就労訓練について、一般就労に結びついた割合の分析など、効果を検証する必要があります。 多様化するニーズに柔軟に対応できるように、相談支援従事者の資質の向上をより一層図っていく必要があります。 障がい者の権利擁護に向けては、意思決定支援の実践とともに、成年後見制度の利用促進をより一層図っていく必要があります。
人/月	16,700	-	-	(2018年7月)		
人/月	15,300	-	-	(2018年7月)		

No.	プロジェクト名	2016年度				総合計画審議会による二次評価	数値目標項目
		数値目標					
		単位	目標値	実績値	達成率 (%)		
5	エネルギー	%	8.1	9.3	114.8	概ね順調に進んでいます	①県内の年間電力消費量の削減率
		%	15.5	13.5	87.0	再生可能エネルギーのさらなる導入や、省エネの促進など、分散型エネルギーシステムの構築に向けた取組みは進んでいることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・再生可能エネルギーなどの普及促進や省エネに対する県民意識の向上につながる取組みをさらに進めていく必要があります。	
6	産業創出	件	92	138	150.0	概ね順調に進んでいます	①ロボット実証実験件数（累計）
		件	50	47	94.0	ロボット実証実験件数は目標を大きく上回っており、ライフィノベーションセンターの供用開始や生活支援ロボットの商品化が進んでいることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。	②県外・国外から立地した事業所数（累計）
		件	116	116	100.0	・ロボットの実用化・普及のため、大手企業と中小企業のビジネスマッチングに取り組んでいく必要があります。 ・中小企業が求める人材の確保支援に取り組んでいく必要があります。	③神奈川発新技術の実用化件数（累計）
7	海外展開	件	78	82	105.1	概ね順調に進んでいます	①外国企業の誘致件数（累計）
		件	310	323	104.1	2つの数値目標はいずれも達成していますが、民間企業との協定や海外機関などとの覚書締結などこれまでの取組みによる本県への具体的な成果が十分に現れていないことから、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・中小企業の海外展開支援の取組みについては、目に見える本県への具体的な成果が現れていないことから引き続きしっかりと取り組んでいく必要があります。 ・中小企業の海外展開支援について、相手国の需要等を踏まえたうえで、進出を検討している企業のニーズを十分に把握し、海外展開に伴う課題が解消されるよう取り組む必要があります。	②本県と海外の国・地域の人的交流件数

2017年度						
数値目標					県の一次評価	総合計画審議会による二次評価
単位	目標値	実績値	達成率 (%)	備考 (把握予定時期)		
%	8.7	-	-	(2018年10月)	概ね順調に進んでいます。 ・数値目標の達成状況は未把握ですが、自家消費型太陽光発電等の導入に対する支援などによる再生可能エネルギーのさらなる導入や、省エネの促進など、着実に分散型エネルギーシステムの構築に向けた取組みは進んでおり、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます 数値目標の達成状況は未把握ですが、再生可能エネルギーのさらなる導入など取組みは進んでいることから、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・固定価格買取制度の見直しなど、再生可能エネルギーを取り巻く環境が変化している中であっても、より一層の普及に向けた方策を検討していく必要があります。
%	17.4	-	-	(2018年10月)		
件	113	186	164.6		順調に進んでいます。 ・数値目標の達成状況は3項目中1項目で未把握ですが、生活支援ロボットの商品化が進むなど、プロジェクトは順調に進んでいます。	順調に進んでいます ロボットの実証実験件数が目標を大きく上回るとともに、生活支援ロボットの商品化が進んでいることなどから、県の一次評価は妥当であり、「順調に進んでいる」と評価します。
件	75	79	105.3			
件	124	-	-	(2018年7月)		
件	85	103	121.1		順調に進んでいます。 ・数値目標の達成状況は2項目中1項目で未把握ですが、外国企業の誘致や国際機関との連携が進むなどプロジェクトは順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます 外国企業の誘致や国際機関との連携は進んでいますが、中小企業の多様な海外展開ニーズに応じた支援を行う必要があることや、県民ニーズの動向において、「民間の国際交流・協力活動が活発であること」を重要だと思ふ人の割合が低いことなどからプロジェクトは「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・国際交流の重要性に関する県民意識の向上につながる取組みを進める必要があります。 ・経済のグローバル化に対応した企業支援については、海外進出支援だけではなく、国内の取組みも含め、様々な形態の支援を進めていく必要があります。 ・中小企業の海外展開ニーズをよりの確に把握し、効果的に取組みを進めていく必要があります。
件	325	-	-	(2018年5月末)		

No.	プロジェクト名	2016年度				総計画審議会による二次評価	数値目標項目
		数値目標					
		単位	目標値	実績値	達成率 (%)		
8	観光	万人	183	231	126.2	<p>概ね順調に進んでいます</p> <p>国内外からの観光客誘致や新しい観光魅力づくりが着実に進められ、県民ニーズの動向も県が魅力的であると考えられる割合が高いことなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>・ 神奈川の豊かな自然環境を生かした周遊型・体験型ツアーの企画・商品化などにより、地域を訪れる観光客の宿泊も見込める取組みを強化していく必要があります。</p> <p>・ 外国人観光客の受入対策として、民泊の活用について検討していく必要があります。</p>	①外国人旅行者の訪問者数（暦年）
		百万人	192	190	98.9		②神奈川県を訪問する入込観光客数（暦年）
		万人	308	306	99.3		③新たな観光の核づくり地域の入込観光客数（暦年）
9	マグカル	人	1,000,000	1,094,885	109.4	<p>概ね順調に進んでいます</p> <p>神奈川県民ホール（本館、神奈川県芸術劇場）及び県立音楽堂の利用者数は着実に増加しているものの、マグカルの全県展開に向けて一層取り組む必要があることから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>・ マグカルの全県展開に向け、市町村と連携し、地域間で展開に大きな差が生まれないよう、取組みをさらに推進する必要があります。</p>	①神奈川県民ホール（本館、神奈川県芸術劇場）及び県立音楽堂の利用者数
		人	75	85	113.3		②舞台芸術人材の育成のためのマグカル・パフォーミングアーツ・アカデミーの受講者数（累計）
		人	168,000	179,754	106.9		③子ども・青少年を対象とした文化芸術の鑑賞・体験事業の参加者数

2017年度						
数値目標					県の一次評価	総合計画審議会による二次評価
単位	目標値	実績値	達成率 (%)	備考 (把握予定時期)		
万人	192	244	127.0		概ね順調に進んでいます。 ・数値目標の達成状況は3項目中2項目で未把握ですが、海外の国際観光展への出展や県外でのPRイベントの実施など国内外からの観光客誘致や新しい観光魅力づくりが着実に進んでおり、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます 海外の国際観光展への出展や県外でのPRイベントの実施など国内外からの観光客誘致や新しい観光魅力づくりが着実に進んでいることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・観光振興が地域活性化にもつながるよう、県と市町村が連携した取組みを引き続き推進していく必要があります。
百万人	196	-	-	(2018年7月 (速報値))		
万人	314	-	-	(2018年12月)		
人	1,010,000	652,652	64.6		概ね順調に進んでいます。 ・数値目標は3項目中2項目で達成しており、「神奈川文化プログラム」の認証や舞台芸術を担う人材の育成を進めるなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます 「神奈川文化プログラム」の認証や舞台芸術を担う人材の育成が進んでいることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・県民が求めている文化芸術に関するニーズを把握・分析し、県として必要な施策を展開する必要があります。 ・県内全域で文化芸術に親しめる環境への満足度が高まるよう、取組みを展開していく必要があります。 ・県民にマグカルの取組みがさらに伝わるよう、より効果的な情報発信に努めていく必要があります。
人	100	121	121.0			
人	174,000	181,658	104.4			

No.	プロジェクト名	2016年度				総合計画審議会による二次評価	数値目標項目
		数値目標					
		単位	目標値	実績値	達成率 (%)		
10	農林水産	件	25	35	140.0	<p>概ね順調に進んでいます</p> <p>消費者や実需者のニーズに対応した販売契約の促進を着実に進めていることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>・地産地消の推進のため、県産農林水産物に対する県民の認知度向上に向けた取組みをより一層進めていく必要があります。</p> <p>・農業等への企業参入の促進の取組みをより一層進めていく必要があります。</p>	<p>①消費者や実需者のニーズに対応した新たな販売契約数（累計）</p> <p>②新商品の開発や販路拡大などの成果があった畜産ブランド数（累計）</p> <p>③消費者ニーズを把握して開発・販売した水産物の加工品数（累計）</p> <p>④農林水産業への新たな就業者数（企業参入・雇用就農を含む）</p>
		件	15	24	160.0		
		件	18	18	100.0		
		人	130	128	98.4		
11	減災	万人	160	175	109.3	<p>順調に進んでいます</p> <p>訓練を通じて、自助・共助・公助の連携強化が図られたことなどから、県の一次評価は妥当であり、「順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>・地域における災害対応力の強化のため、身近な住民同士のつながりを一層強めていく必要があります。</p> <p>・外国人観光客を含む来県者のため、災害時の避難誘導等について取り組む必要があります。</p>	<p>①「かながわシェイクアウト（いっせい防災行動訓練）」の参加者数（事前登録者数）</p> <p>②新たに消防の広域化や消防指令センターの共同運用に参加する市町村数（累計）</p> <p>③耐震診断が義務付けられた大規模建築物・沿道建築物の耐震診断結果の報告率（累計）</p>
		市町村	17	17	100.0		
		%	65	77.68	119.5		
12	治安	%	25.0	25.1	100.4	<p>順調に進んでいます</p> <p>刑法犯認知件数や交通事故件数が着実に減少していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>・体感治安の改善に向けて、不安感の解消につながる様々な取組みを進めていく必要があります。</p>	<p>①「犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること」に関する県民意識（満足度）</p> <p>②地域で活動する防犯ボランティアの育成数（累計）</p>
		人	1,500	1,608	107.2		

2017年度						
数値目標				備考 (把握予定時期)	県の一次評価	総合計画審議会による二次評価
単位	目標値	実績値	達成率 (%)			
件	40	49	122.5		概ね順調に進んでいます。 ・数値目標の達成状況は4項目中1項目で未把握ですが、差別化商品とし県が育成した野菜などの新たな販売契約数や、県産牛乳の商品開発などにより畜産ブランド数が目標を上回るなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます 差別化商品とし県が育成した野菜などの新たな販売契約数や、県産牛乳の商品開発などにより畜産ブランド数が目標を上回るなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・技術革新による生産性の向上や集約化により、生産体制を充実させ、農林水産物に対する県民の認知度向上に向けた取組をより一層進める必要があります。 ・農林水産業の担い手の育成・確保にあたっては、新たな担い手が不足しているなど各地域の特徴を踏まえて対応する必要があります。 ・農林水産業の振興による本県経済への寄与を検証する必要があります。
件	20	28	140.0			
件	21	21	100.0			
人	140	-	-	(2018年8月)		
万人	180	186	103.3		順調に進んでいます。 ・すべての項目で数値目標を達成しており、「ビッグレスキューかながわ」等の訓練を通じて自助・共助・公助の連携強化が推進されるなど、プロジェクトは順調に進んでいます。	順調に進んでいます 「ビッグレスキューかながわ」や総合防災センターのリニューアルなどを通じて、自助・共助・公助の連携強化が推進されたことなどから、県の一次評価は妥当であり、「順調に進んでいる」と評価します。 ・シェイクアウトについては、事前登録者それぞれがしっかりと安全確保行動を行うよう、今後も普及啓発定着を図っていく必要があります。 ・災害に備えて食料や飲料水を備蓄することについて、市町村などと連携して普及啓発を進め、家庭における備蓄を進めるする必要があります。
市町村	20	22	110.0			
%	80	85.90	107.3			
%	26.0	21.9	84.2		概ね順調に進んでいます。 ・数値目標は2項目中1項目で達成しており、刑法犯認知件数が着実に減少し、防犯ボランティアの育成数が増加するなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます 刑法犯認知件数が着実に減少し、防犯ボランティアの育成数が増加していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・地域の防犯について、ボランティア団体や自治組織、学校などとの連携をさらに推進していく必要があります。 ・サイバー空間の悪用など、若年者が巻き込まれやすい犯罪を防止するため、一層の取組を進める必要があります。
人	1,750	2,017	115.2			

No.	プロジェクト名	2016年度				総合計画審議会による二次評価	数値目標項目
		数値目標					
		単位	目標値	実績値	達成率 (%)		
13	男女共同参画	%	36.6	33.7	92.0	概ね順調に進んでいます 労働力調査における25～44歳の女性の就業率は着実に増加していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・女性の活躍を促進するためには、教育という側面からの取組みをさらに進める必要があります。 ・男女を問わず、働きながら育児などを行っている人々を支援するような環境づくりに、一層取り組んでいく必要があります。 ・男女が共に生き生きと働ける環境づくりに向けて、実効性のある働き方改革に、一層取り組んでいく必要があります。	①県及び市町村の審議会などにおける女性委員の登用率 ②事業所における女性管理職の割合 ③労働力調査における25～44歳の女性の就業率（暦年） ④事業所における男性の育児休業取得率 ⑤配偶者などからの暴力防止や被害者支援に関する基本計画を策定し、総合的、計画的に取り組む市町村数
		%	8.5	7.4	87.0		
		%	68.2	68.3	100.1		
		%	4.4	5.8	131.8		
		市町村	26	26	100.0		
14	子ども・青少年	人	2,000	497	402.4	概ね順調に進んでいます 地域若者サポートステーションで支援を受けた人の就職者数は着実に増加し、保育所等利用待機児童数も減少していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・子ども・青少年施策について、幅広く課題を検討し、長期的な視点に立って取り組む必要があります。 ・子ども・青少年に関わる機関同士の情報共有など、横の連携をより強化する必要があります。 ・総合的な子どもの貧困対策に、一層取り組む必要があります。	①保育所等利用待機児童数 ②児童相談所が受け付けた児童虐待相談のうち、一時保護を必要とした子どもの割合 ③いじめ認知件数のうち、年度内に「いじめの状況が改善」した割合 ④社会的養護を必要とする子どものうち、里親・ファミリーホームで養育される子どもの割合 ⑤地域若者サポートステーションで支援を受けた人の就職者数
		%	12.0	13.4	89.5		
		%	97.6	96.9	99.2		
		%	14	14.1	100.7		
		人	240	251	104.5		
15	教育	%	59	51.0	86.4	概ね順調に進んでいます 一人ひとりの生きる力を高める学校教育の推進を着実に進めていることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・「一人ひとりの生きる力」を育むため、子どもたちが自ら学び、考え、行動する力や社会とかがわっていく力を身につけるための取組みをさらに進める必要があります。 ・言語活動・理数教育の充実や小学校における英語の教科化など、今後増加する教員の負担を軽減する必要があります。 ・教員や生徒の語学力の向上を図るとともに、国際社会を経験したグローバルな人材の育成に、より一層取り組む必要があります。	①主体的な学習活動を通じて、思考力・判断力・表現力を高めることができたと思う高校生の割合 ②「生徒にICT活用を指導する能力」が高まったと感じる教員の割合 ③県内特別支援学校高等部（知的障害教育部門）卒業生の就職後の定着率
		%	70	72.7	103.8		
		%	83	83.1	100.1		

2017年度						
数値目標				備考 (把握予定時期)	県の一次評価	総合計画審議会による二次評価
単位	目標値	実績値	達成率 (%)			
%	38.0	34.0	89.4		概ね順調に進んでいます。 ・数値目標は5項目中2項目で達成しており、「事業所における男性の育児休業取得率」が目標を大幅に上回るなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます 事業所における男性の育児休業取得率が大幅に増加していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・男女共同参画の実現に向け、就業の場における男女間の格差を解消していく必要があります。また、職場環境の整備など、女性の活躍支援を進めていく必要があります。
%	9.5	7.4	77.8			
%	68.9	71.2	103.3			
%	4.7	8.0	170.2			
市町村	30	27	90.0			
人	500	756	66.1		概ね順調に進んでいます。 ・数値目標の達成状況は5項目中1項目で未把握ですが、社会的養護を必要とする子どもや貧困の状態にある子どもへの支援が着実に進むなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます 社会的養護を必要とする子どもへの支援が着実に進んでおり、貧困の状態にある子どもを支援するための取組みも充実が図られていることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・一時保護が必要な子どもの割合の減少が、真に保護を必要とする子どもを見落とすことにつながらないよう、慎重かつ丁寧な支援が望まれます。
%	11.5	11.8	97.4			
%	97.8	-	-			
%	15	16.0	106.6			
人	260	182	70.0			
%	64	49.7	77.6		(2018年5月下旬) 概ね順調に進んでいます。 ・数値目標の達成状況は3項目中1項目で未把握ですが、グローバル教育研究推進校などの指定校の取組みを着実に進めており、一人ひとりの生きる力を高める学校教育の推進を着実に進めるなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます グローバル教育研究推進校などの指定校の取組みを着実に進めたことなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・共に生きる社会の実現に向け、すべての子どもができるだけ共に学び、共に育つことをめざすインクルーシブ教育の推進に、一層取り組む必要があります。 ・公立・私立ともに、魅力的な教育環境づくりに、一層取り組む必要があります。 ・生徒のICT機器の活用能力の向上に向け、一層取り組む必要があります。
%	75	-	-			
%	84	84.0	100.0			

No.	プロジェクト名	2016年度				総計画審議会による二次評価	数値目標項目
		数値目標					
		単位	目標値	実績値	達成率 (%)		
16	スポーツ	%	44	44.8	101.8	<p>順調に進んでいます</p> <p>県内総合型地域スポーツクラブの総会員数が着実に増加していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>・まちの中で運動やスポーツに気軽に取り組める環境づくりを進める必要があります。</p> <p>・豊かな自然環境を生かした運動やスポーツの推進にも取り組む必要があります。</p>	<p>①小学生が週3回以上の運動やスポーツを実施する率</p> <p>②県内総合型地域スポーツクラブの総会員数（累計）</p>
		人	28,000	30,104	107.5		
17	雇用	%	93.5	95.1	101.7	<p>概ね順調に進んでいます</p> <p>職業能力開発や就職支援講座による就業支援を着実に進めていることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>・外国人人材の活用について、特区を有効に活用することなどにより、人材の養成と確保に積極的に取り組む必要があります。</p> <p>・若年者、中高年齢者、障がい者などの就業支援をより一層進めるため、中小企業をはじめとした県内企業との連携を深めていく必要があります。</p>	<p>①職業技術校生の修了3ヶ月後の就職率</p> <p>②障がい者の雇用率</p>
		%	1.91	1.87	97.9		
18	地域活性化	施設	130	156	120.0	<p>概ね順調に進んでいます</p> <p>未病いやしの里の駅の登録施設数が目標を上回り、着実に増加していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>・未病による地域活性化の取組みについては、観光資源の創出だけでなく、未病の改善が実感できる地域の魅力の発信について、さらに取り組む必要があります。</p> <p>・地域活性化のためには、観光振興だけでなく、地域での生活の魅力を高めていく必要があります。</p>	<p>①未病いやしの里の駅の数（累計）</p> <p>②三浦半島地域（鎌倉市を除く）の観光客消費額</p> <p>③地域商業ブランド育成などに取り組む団体数（累計）</p>
		百万円	24,800	24,585	99.1		
		団体	188	201	106.9		

2017年度						
数値目標				備考 (把握予定時期)	県の一次評価	総合計画審議会による二次評価
単位	目標値	実績値	達成率 (%)			
%	47	43.7	92.9		概ね順調に進んでいます。 子どもの遊び・運動推進事業の実施や3033運動の普及・啓発に取り組むなど、ライフステージに応じたスポーツ活動を着実に推進していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・日常生活の中で運動やスポーツを促す環境づくりを進める必要があります。 ・オリンピック・パラリンピックなどの国際的なイベントを契機に、スポーツに関する様々な体験ができる機会の提供などに取り組む必要があります。	
人	29,300	30,493	104.0	概ね順調に進んでいます。 ・数値目標は2項目中1項目で達成しており、県内総合型地域スポーツクラブの総会員数は、着実に増加していることから、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。		
%	94.0	96.1	102.2	推計値	概ね順調に進んでいます。 職業能力開発や就業支援を着実に進めており、障害者雇用促進センターを開設し、障がい者雇用の取組みがあまり進んでいない中小企業への支援を強化していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・高齢者の就業を一層促進していくための職業能力開発や就業支援などに取り組む必要があります。 ・外国人看護師・介護福祉士候補者の国家試験合格の支援を一層進めるとともに、地域生活の支援にも取り組む必要があります。 ・賃金水準が低く仕事を掛け持ちするなど、不安定な就労状況等にあるひとり親に対して、安定した生活につながる支援に取り組む必要があります。	
%	2.00	1.92	96.0	概ね順調に進んでいます。 ・数値目標は2項目中1項目で達成しており、障がい者の雇用率は数値目標に届きませんでした。障害者雇用促進センターを開設し、取組みが進んでいない中小企業への支援を強化し取組みを進めるなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。		
施設	160	182	113.7		概ね順調に進んでいます。 未病いやしの里の駅の登録施設数が目標を上回り、また、「未病パレー『BIOTOPIA(ビオトピア)』」がオープンを迎えるなど、人を呼び込む取組みが着実に進んでいることから、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・地域活性化に向けて、外国人観光客の受入体制を整えるなど、インバウンドへの対応にもしっかりと取り組む必要があります。 ・未病改善の取組みを通じた地域活性化について、県民に分かりやすく示す必要があります。	
百万円	25,800	-	-	(2018年10月)		
団体	208	230	110.5	概ね順調に進んでいます。 ・数値目標は3項目中1項目で未把握ですが、地域活性化につながる「にぎわい」創出の核となる根拠として、「未病パレー『BIOTOPIA(ビオトピア)』」の2018年4月第1期オープンに向け整備が進められたことなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。		

No.	プロジェクト名	2016年度				総計画審議会による二次評価	数値目標項目
		数値目標			達成率 (%)		
		単位	目標値	実績値			
19	多文化共生	人	175	231	132.0	<p>順調に進んでいます</p> <p>災害時通訳ボランティアの登録者数は着実に増加していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>・留学生が神奈川に残りたいと思えるような魅力的な活躍の場や、留学生の力を最大限に生かせるような環境づくりに一層取り組む必要があります。</p> <p>・外国人労働者の一層の増加が予測される中で、これまで以上に、多文化理解の促進や多文化共生の地域社会づくりに取り組む必要があります。</p>	<p>①災害時通訳ボランティアの登録者数</p> <p>②かなフランスーションの利用者数</p> <p>③地球市民かながわプラザの利用者数</p>
		人	6,300	7,160	113.6		
		人	390,000	421,094	107.9		
20	協働連携	法人	147	134	91.1	<p>概ね順調に進んでいます</p> <p>多様な主体による協働の重要性を理解する方が着実に増えてきていることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>・地域課題の解決に向けて活動しているNPOをはじめとした多様な主体とのさらなる連携や、それらへの効果的な支援方法について検討していく必要があります。</p> <p>・多様な主体による協働連携型社会の実現に向けて、アクティブなシニア層や地域貢献を望んでいる人が参加しやすい環境づくりに取り組む必要があります。</p>	<p>①寄附者が税制上の優遇を受けられるNPO法人数（累計）</p> <p>②NPOと企業、大学などとの協働事業件数</p>
		件	27	39	144.4		
21	自然	%	84	82	97.6	<p>やや遅れています</p> <p>「小網代の森の年間利用者数」が前年度から減少して達成率が著しく低いこと、「水源の森林エリア内の私有林で適切に管理されている森林の面積の割合」が目標を達成しなかったこと、「里地里山の保全活動に取り組んだ人数」は目標を達成しているものの前年度に比べ人数が減少していることなどから、「やや遅れている」と評価します。</p> <p>・数値目標の達成状況に鑑み、これまでの取組みの効果を検証したうえで、プロジェクトのねらいの実現に向けてしっかりと取り組んでいく必要があります。</p> <p>・首都圏で唯一と言われる森林から湿地、干潟及び海までが連続して残された貴重な自然環境である「小網代の森」について、環境学習の場としての活用の一層取り組んでいく必要があります。</p>	<p>①水源の森林エリア内の私有林で適切に管理されている森林の面積の割合</p> <p>②里地里山の保全活動に取り組んだ人数</p> <p>③小網代の森の年間利用者数</p>
		人	4,800	4,812	100.2		
		人	115,000	45,000	39.1		

2017年度						
数値目標				備考 (把握予定時期)	県の一次評価	総合計画審議会による二次評価
単位	目標値	実績値	達成率 (%)			
人	190	250	131.5		<p>概ね順調に進んでいます。</p> <p>・数値目標は3項目中2項目で達成しており、災害時通訳ボランティアの登録者数が増加するなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。</p>	<p>概ね順調に進んでいます</p> <p>災害時通訳ボランティアの登録者数が増加していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>・ 多文化共生の推進にあたっては、差別や偏見のない地域社会づくりという観点にも留意して、取組みを展開していく必要があります。</p> <p>・ 災害時などに外国籍県民自身が自助・共助に取り組める環境づくりを検討していく必要があります。</p> <p>・ 外国籍県民同士の交流促進や、相互理解を深めるための取組みを検討していく必要があります。</p>
人	6,400	5,959	93.1			
人	395,000	427,492	108.2			
法人	167	138	82.6		<p>概ね順調に進んでいます。</p> <p>・数値目標は2項目中1項目で達成しており、またNPOの自立的活動を促進するための新たな協働によるイベントが開催されるなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。</p>	<p>概ね順調に進んでいます</p> <p>「寄附者が税制上の優遇を受けられないもの」、「NPOと企業、大学などとの協働事業件数」が目標を達成しているなどから、県による一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>・ 多様な主体による協働型社会の実現に向けて、NPOと企業、大学などとの協働事業が着実に増加するよう、しっかりと取り組む必要があります。</p> <p>・ 協働型社会の実現のためには、NPO法人だけでなく、地域課題の解決に向けて活動している多様な主体と、さらに連携を進める方策を検討していく必要があります。</p>
件	35	35	100.0			
%	87	87	100.0		<p>概ね順調に進んでいます。</p> <p>・数値目標は3項目中2項目で達成しており、里地里山づくりや丹沢大山の自然再生、人と動物の共生に向けた取組みが進むなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。</p>	<p>概ね順調に進んでいます</p> <p>里地里山づくりや丹沢大山の自然再生、人と動物の共生に向けた取組みが進んでいることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>・ 「小網代の森」について、自然とふれあう環境学習の場としての活用を進めるため、学校などへさらに周知していくとともに、より一層活用が進む方策を検討していく必要があります。</p>
人	4,900	4,993	101.8	推計値		
人	117,500	40,000	34.0			

No.	プロジェクト名	2016年度				総合計画審議会による二次評価	数値目標項目
		数値目標			達成率 (%)		
		単位	目標値	実績値			
22	環境	%	66	63.8	96.6	<p>概ね順調に進んでいます</p> <p>粒子状物質を排出する旧式ディーゼル車の運行規制の徹底やエコドライブの普及啓発を実施するなど、大気環境保全の取組みが進んでいることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>・地球温暖化対策や資源循環への取組みについて、家庭部門への継続的な意識啓発を進めていく必要があります。</p>	①大規模排出事業者のうち二酸化炭素排出量の削減目標を達成した事業者の割合
		%	28	24.8	88.5		②一般廃棄物の再生利用率
		$\mu\text{g}/\text{m}^3$	15.3	12.0	127.5		③PM2.5の自動車排出ガス測定局における年平均値の全局平均値
23	都市基盤	%	86	86.0	100.0	<p>概ね順調に進んでいます</p> <p>道路・鉄道網の整備が着実に進んでいることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。</p> <p>・景観や歴史文化などの地域の特色を生かしたまちづくりを引き続き推進し、神奈川らしい県土づくりに取り組む必要があります。</p>	①インターチェンジまでの距離5km以内の地域の割合
		%	18.6	18.4	98.9		②「道路の渋滞がないなど、自動車で県内各地へスムーズに移動できること」に関する県民意識（満足度）

2017年度						
数値目標					県の一次評価	総合計画審議会による二次評価
単位	目標値	実績値	達成率 (%)	備考 (把握予定時期)		
%	68	-	-	(2019年4月)	<p>概ね順調に進んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・数値目標の達成状況は未把握ですが、2016年のPM2.5の自動車排出ガス測定局における年平均値の全局平均値が2017年の目標を達成しているほか、環境学習・教育の支援や家庭における省エネルギー行動の普及啓発に企業と連携して取り組むなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます 	<p>やや遅れています</p> <p>数値目標の達成率はいずれも未把握ですが、2016年の「大規模排出事業者のうち二酸化炭素排出量の削減目標を達成した事業者の割合」及び「一般廃棄物の再生利用率」の数値がいずれも目標を達成しなかったこと、また2014年の数値よりも低減していることから、「やや遅れている」と評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の3Rへの取組みは、リサイクルよりもリデュースやリユースに比重を置くなど、社会環境の変化を踏まえて対応する必要があります。 ・環境に配慮した活動の推進は、家庭や企業等がそれぞれ自らの行うべき取組みを明確に認識できるよう、引き続き効果的な意識啓発を進める必要があります。
%	29	-	-	(2019年3月)		
$\mu\text{g}/\text{m}^3$	15.2	-	-	(2018年7月)		
%	88	86	97.7		<p>やや遅れています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新東名高速道路や（都）久里浜田浦線の開通など、道路網の整備は着実に進んでおり、自動車専用道路の沿道への企業立地も進んでいます。が、いずれの数値目標も達成しておらず、プロジェクトはやや遅れています。 	<p>やや遅れています</p> <p>新東名高速道路や（都）久里浜田浦線の開通など、道路網の整備は進んでいますが、「インターチェンジまでの距離5km以内の地域の割合」や「道路の渋滞がないなど、自動車でも県内各地へスムーズに移動できることに関する県民意識」に関する目標を達成しなかったことなどから、「やや遅れている」と評価します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市機能の集約化や交通と連携を支える交通ネットワークの充実を図るとともに、老朽化する公共施設の増加に対応した維持管理を進めるなど、持続可能な魅力あるまちづくりに一層取り組む必要がある。
%	19.3	17.2	89.1			